

東北学院大学の改革に関する意見箱 回答

No.	2025-027
投書日	2025/10/16
タイトル	土樋キャンパス周辺の交通について
投書内容	土樋キャンパス周辺の歩行環境について意見を申し上げたく、投稿いたします。 今月 10 日に連絡通路が再開通し、荒町交差点方面へ回り道をする必要がなくなったことで、以前の便利さが戻ったと感じております。 しかしながら、この連絡通路は雨天時に非常に不便に感じます。五橋駅方面から向かう際、途中までは屋根がありますが、その距離は全体の 3 分の 1 ほどで、残りは屋根のない露天部分です。晴天時は問題ありませんが、雨の日は傘を差さなければならず、通路が狭いためすれ違いも困難になります。特に一部の曲がり角では交互通行ができず、どちらか一方が通行できない状況になることもあります。 また、この通路の狭さは連絡通路だけでなく、西友側のかつて喫茶店があった建物前の歩道でも同様に見受けられます。 さらに、福祉センターに隣接する連絡通路の先、現在駐輪場が設置されている区間では、路面の凹凸が多く雨水が溜まりやすいため、歩行者がそれを避けて無秩序に通行するため、通行に支障が生じます。 以上の点から、連絡通路の全天候対応化を要望するとともに、土樋キャンパスから五橋駅方面への歩行環境改善に向けた今後の方策について、お伺いしたいと考えております。
回答日	2025/11/21
回答	この度は、土樋キャンパス周辺の歩行環境について、ご意見ありがとうございます。 連絡通路の再開通による利便性向上の一方で、雨天時の屋根の不備、通路の狭さ、周辺の路面状況など、通学時のご不便について詳細なご指摘、承知いたしました。 学生の皆様の安全で快適な通学環境の確保は、本学にとっても重要な課題であると認識しておりますが、ご指摘いただいた通路や歩道は、仙台市の所有地など本学の管理外の区域も含まれており、大学単独での改善が出来ない部分もございます。 つきましては、頂戴したご意見を、近隣住民の皆様や管轄の警察署、関係行政機関等との定期的な協議の場がございますので、その機会に「学生からの要望事項の一つ」として提起し、歩行環境の改善に向けた協議をさせていただきます。 引き続き、関係各所と連携しながら、より良いキャンパス周辺環境の整備に努めてまいりますので、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。